

くらし安全 新しいまちづくりをすすめよう



# かけはし

## 主な記事

- 総決起大会、まちづくりシンポジウム・セミナーの開催……………(1)
- 事業関係年表……………(2)
- 沼津の都心の移り変わり……………(4)
- 私たちのメッセージ……………(6)
- 事業が進んでいます……………(7)
- 会の動きほか……………(8)

編集・発行／沼津駅の高架化を実現する市民の会 〒410-0046 沼津市米山町6-5 (沼津商工会議所内) TEL (055) 921-1000(代)・FAX (055) 921-1105

## 総決起大会、まちづくりシンポジウム・セミナーの開催



平成30年2月7日、プラサヴェルデで、ぬまづまちづくりシンポジウムを開催しました。姫路商工会議所から講師をお迎えし、姫路市における先進事例を参考に今後のまちづくりについて考えました。事業に対する市民の関心は非常に高く、会場には入りきれないほどの来場がありました。

「高架化の実現」に向けて  
沼津駅の高架化を実現する市民の会  
30年の歩み



平成30年12月4日、プラサヴェルデにてぬまづまちづくりセミナーを開催しました。副市長や(株)日建総研からの講師を迎え、まちづくりについて学びました。



平成17年8月4日、沼津市民文化センターで、沼津駅の高架化を実現する市民総決起大会を開催しました。約2,600名もの市民が参加し、事業推進の決意を固めました。

事業に関する年表

これまでの市民の会のおもな活動

S63年

5.14 設立総会開催(団体数:約100)

7.1~署名活動の実施

8.31 署名人数:163,952名(沼津市民及び圏域住民による)

9.22 静岡県への陳情活動の実施

※署名簿を携え、県知事、県会議長らと面談

10.15 広報紙「かけはし」の創刊

10.21 市民の集い「市民決起大会」の開催

※1,300名余が一堂に会す

H4.11月 シンボルマークの公募・作成

H5.6.7 講演会「21世紀のまちづくり」開催

H9.3.28 セミナー「災害に強い安全なまちづくり」開催

H10.7.8 講演会「女性とまちづくり」開催

H13.7.11 講演会「都市の再生」開催

H17.8.4 「沼津駅の高架化を実現する市民総決起大会」開催

H19.2.6 沼津駅付近鉄道高架事業認可報告会の開催

H19.7.4 福知山商工会議所会頭による記念講演

H19.12.4 沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況視察見学会の実施

H26.3.25 先進事例視察実施:岐阜市

H27.2.2 先進事例視察実施:東京都稲城市

H28.10.1 静岡新聞・沼津朝日新聞に意見広告掲載

H29.11.6 先進事例視察実施:兵庫県姫路市

H30.2.7 めまづまちづくりシンポジウムの開催

H30.7.23 国土交通省への要望活動の実施

H30.12.4 めまづまちづくりセミナーの開催

H31.2.4 先進事例視察実施:富山市・福井市

R1.11.19 先進事例視察実施:秋葉原・埼玉県八潮市

R1.11.22 沼津市議会「沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会」  
との意見交換会開催

R3.1.14 沼津市議会「沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会」  
との意見交換会開催

R3.3.31 広報紙「かけはし」記念号発行



【歴代会長】  
宇野三郎

大橋光雄

永倉芳郎  
諏訪部恭一

後藤全弘  
市川 厚

# 沼津駅付近鉄道高架

## 社会と事業のおもな動き

- S62年4月 国鉄分割民営化
- S63年3月 沼津市長が沼津市議会で鉄道高架方針を表明**
- S63年3月 沼津市議会に「鉄道高架化促進対策特別委員会」設置
- S63年11月 「沼津駅周辺総合整備手法検討委員会」の設置
- H3年10月 静岡県が主体となり沼津駅付近鉄道高架化のための調査に着手
- H5年12月 静岡県東部地方拠点都市地域整備基本計画の知事承認
- H6年4月 平成6年度より鉄道高架化調査の国庫補助採択
- H7年1月 阪神・淡路大震災発生
- H9年3月 県・市が沼津駅北の国鉄清算事業団用地を取得
- H10年10月 多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」開館
- H12年11月 国の公共事業見直しによるコストの縮減、計画の見直し
- H14年7月 沼津駅北口駅前広場供用開始**
- H14年8月 鉄道高架の都市計画案の公聴会の開催
- H14年9月 「沼津駅付近鉄道高架建設促進期成同盟会」の設立
- H15年1月 鉄道高架の都市計画決定**
- H15年4月 連続立体交差事業の国による着工準備補助採択
- H17年12月 市議会で鉄道高架事業の是非を問う住民投票条例案を否決
- H18年4月 都市型商業施設「BiVi沼津」開館
- H18年11月 鉄道高架事業の事業認可**
- H20年3月 大手町地区再開発ビル「イーラde」開館**
- H20年3月 鉄道高架事業の変更事業認可
- H22年7月 「沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議」の設置
- H23年3月 東日本大震災発生
- H23年6月 有識者会議報告書の県知事への手交
- H23年11月 沼津高架PIプロジェクトの開始
- H25年11月 PI委員会報告書の県知事への手交
- H26年7月 ふじのくに千本松フォーラム（プラサヴェルデ）の全面開館**
- H31年2月 市議会で鉄道高架事業の是非を問う住民投票条例案を否決
- R2年12月 静岡地裁で事業認可の無効等を求める訴えの却下・棄却判決
- R3年2月 新貨物ターミナルの用地取得完了**

【歴代市長】  
渡辺 朗

↓  
櫻田光雄

↓  
斎藤 衛

↓  
栗原裕康

↓  
大沼明穂  
頼重秀一

【歴代県知事】  
斉藤滋与史

↓  
石川嘉延

↓  
川勝平太

## の 移 り 変 わ り

## イーラde周辺

沼津駅前のロータリーに接するこの場所にはかつて雑居ビルが集まっていたが、南口のランドマークである複合施設イーラdeの整備により生まれ変わりました。



## かつての沼津駅北

沼津駅では列車の動力車を交換するため「機関区」が設置されていましたが、機関区閉鎖後は敷地周辺は空地となっていました。



## 三つ目ガード北周辺

静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業により、国道414号が整備され、4車線になり、歩道も拡幅されました。今後、電線の地中化等により、景観・防災性が向上します。



# 沼津の都心

## 沼津駅北西周辺

沼津駅周辺土地区画整理事業の静岡東部拠点第一地区内にあるこの地区は、土地区画整理事業により公共空間が広がり、新たな街並みに生まれ変わりました。



## 現在の沼津駅北

ユニバーサルデザインの沼津駅北口ロータリー、商業施設「BiVi沼津」、総合コンベンション施設「プラサヴェルデ」が整備され、一帯は駅北の顔となっています。



## 添地町周辺

沼津駅周辺土地区画整理事業の沼津駅南地区では、土地区画整理事業に合わせて専門学校やマンションなどが新たに建設されています。



# 私たちのメッセージ



沼津駅の高架化を  
実現する市民の会  
会長

私たち「沼津駅の高架化を実現する市民の会」は、昭和六十三年の設立以来、長年にわたり鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業の早期実現のために、関係機関への陳情や、市民啓発活動などを展開してまいりました。

私が、会長に就任した平成二十二年当時は、貨物駅移転反対運動が、事業認可取得したにも関わらず続いておりましたが、有識者会議により高架の妥当性が認められた頃でした。

その後P1を経て、推進に向け県知事が舵をとり、本年度、課題となっていた新貨物ターミナル用地を取得できたことは、所期の目的をほぼ達成したもので考えております。

そこで今回の「かけはし」は、30年を超える会の活動とともに、高架化事業の経緯を取りまとめた特集号として発行することにいたしました。

静岡県や沼津市とともに、今日を迎えた喜びを表し、早期完成に向けた関係各位のご尽力にご期待申し上げます。

市川 厚



副会長  
(沼津商工会議所 会頭)

沼津駅周辺総合整備事業は、鉄道敷で南北に分断された市街地を一体的かつ、高度な土地利用により、静岡県東部における拠点都市を形成するために、昭和六十三年から長年にわたり推進されてきております。この度の新貨物ターミナル用地取得が、高架化実現への第一歩となるものと考えております。

沼津商工会議所は経済団体として、鉄道高架化実現による都市機能の充実と交通インフラ整備を提言し、沼津市とともに地域経済の活性化に取り組んでまいりたいと思います。

紅野 正裕



副会長  
(沼津市商工会 会長)

念願の沼津駅鉄道高架化の実現がやっと見えてまいりました。

私の地元である原西部地区では、新貨物ターミナル建設の関係で反対者が多い所です。何事もプラスとマイナスがあると思えますが、将来的には道路整備により、地域経済の活性化につながることを期待しています。

また、原西部地区には現在、新放水路の建設、農業団地構想、東駿河湾環状道路の延伸など大型プロジェクトにより、さらに発展する地域であると確信しております。

渡邊 好孝



副会長  
(沼津市自治会連合会 会長)

沼津市自治会連合会では、令和元年度、姫路市における鉄道高架によるまちづくりの先進事例を学び、今後の沼津のまちづくりへの期待を新たにしました。

沼津駅周辺総合整備事業が進んでいく中で、新たなまちの姿が徐々にあらわれてくれば、市民の実感も確かなものとなっていくと思えます。

市民と行政とが互いに手を携え、より魅力ある、暮らしやすいまちになっていくことを願っております。

神原 昭雄



副会長  
(沼津市商店街連盟 会長)

都市間競争による商圈規模の縮小や、ライフスタイルの変化による消費行動の多様化など、商業を取り巻く環境は大きく変化しており、中心市街地の商店街ではさらに厳しさが増えています。

沼津市商店街連盟としては、市民、来街者が駅周辺中心市街地において、日常不便を体感している連続性、回遊性の確保を第一に願い、都市基盤整備による賑わいの創出を大いに期待するところであります。

今後、行政や商工会議所、関係機関と連携し、沼津駅の南北暫定自由通路設置への継続的な要望を続けたいと思います。

芦川 勝年

## 沼津駅周辺総合整備事業が進んでいます

### 沼津駅周辺

沼津駅周辺では、沼津駅周辺総合整備事業の一環として、土地区画整理事業が行われています。

あまねガード南交差点付近では、建物の移転とともに、都市計画道路 三枚橋錦町線の整備が進められています。現在のクランク状の道路線形が改善され、歩道が整備されるなど利便性が向上します。

また、電線地中化により景観や防災性が向上するとともに、沿道に生まれる歩行者空間の活用も期待できます。



### 新貨物ターミナル周辺

市内原西部地区には新貨物ターミナルの整備が予定されています。

新貨物ターミナル用地周辺では、鉄道施設の本格的な着工に向け、周辺道路の整備がすでに行われています。

海岸沿いの県道富士清水線(旧国道1号)から新貨物ターミナルに係係車両等が進入するための進入路となる市道2697号線の整備が進んでいます。

このほか、将来的には、南北をつなぐアンダー道路等の都市基盤が整備され、地域利便性の向上が期待されます。



### 新車両基地周辺

市内片浜地区には新車両基地の整備が予定されています。

新車両基地用地周辺では、関連道路の整備が進められています。都市計画道路 片浜西沢田線は、新車両基地、東海道本線と交差するアンダー道路となります。

将来、都市計画道路 片浜西沢田線が整備されれば、県道富士清水線(旧国道1号)と国道1号が南北方向に結ばれることになり、片浜地区の利便性が大きく向上することが期待されます。



### 市議会特別委員会と意見交換会を開催しました

令和元年11月22日(金)に開催された視察報告会に続いて、令和3年1月14日(木)に、市民の会 正副会長と、沼津市議会 沼津駅周辺高架事業推進特別委員会により、沼津駅付近鉄道高架事業に関する意見交換会を開催しました。

沼津市 沼津駅周辺整備部等から沼津駅周辺総合整備事業の取組状況等について説明があった後、事業の有効性や今後のまちづくりなどについて活発な意見交換が行われました。



#### 事業情報

#### コーナー

懸案だった新貨物ターミナル用地について、令和3年2月19日(金)に、行政代執行が実施され、用地を100%取得することができました。

いよいよ、着工に向けた動きが加速していくこととなります。

### 令和2年度 会の動き

1. 会議の開催  
(1) 正副会長会議  
とき 令和2年6月25日(木)  
場所 沼津商工会議所  
議題 定時会員総会に諮る議案についてほか
- (2) 総会・定時会員総会  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため  
書面議決にて開催  
とき 令和2年7月  
議案 令和元年度事業報告及び収支決算  
令和2年度事業計画及び収支予算
- (3) 正副会長会議  
とき 令和3年3月4日(木)  
場所 沼津商工会議所  
議題 かけはしの発行についてほか



#### 2. 広報啓発活動

- (1) 鉄道高架事業推進特別委との意見交換会  
とき 令和3年1月14日(木)  
場所 沼津市役所 委員会室  
議題 沼津駅付近鉄道高架事業に関する意見交換会

(2) 広報紙「かけはし」発行  
第37号(令和3年3月31日発行)  
8万5千部発行・全戸配布

### 編集後記



副会長  
(NPO法人沼津文化協会理事長)

思い起こせば約五十年ほど前、沼津市で、企業、大学の誘致による産学官の協働によるまちづくりが始まり、高等教育機関・高度医療の充実、拠点と道路のアクセスの向上による人と物の流れ、都市基盤整備が説かれるなか、新しい人材と資本の投下が生まれる方策について、インターネットの有志で考えた。やがて、市民の立ち上がりがあり、「沼津駅の高架化を実現する市民の会」の前身となる市民団体が組織され、その後、市内の主要な各種団体・個人の協力を得て、「沼津駅の高架化を実現する市民の会」の発足へとつながった。

公共事業の見直しや諸々の社会的変革の中で、市民の視点で情報を提供する会報紙「かけはし」は生まれた。社会情勢がめまぐるしく激変するなか、独自の調査と取材により、手作りで、「正しいと思われる情報」を伝えてきたと自負している。事業に賛同されない一部の間で使われた、事業についての不思議な言説と数字の魔術に対し、感情を抜きにして冷静に判断してきた。「かけはし」は、分断されている「道」と「まち」に架ける橋となるとともに、「人」と「都市の未来」に架ける「かけはし(架け橋)」となることをその意とした。

この度、多くの市民の共感と、土地などの私財の提供をはじめとする数々の協力に感謝するとともに、約三十年にわたる「市民の会」の活動をひもとくこととした。

過日、宿願であった新貨物ターミナル用地の取得が完了したことは、非常に意味のある大きな一歩である。これからの沼津の人とまちの未来に期待をかけた。

荻生 昌平

鉄道高架事業をはじめとする「沼津駅周辺総合整備事業」については、以下で詳しく紹介しています。

・沼津市公式ホームページ

<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/station>

・Facebookページ「沼津発⇒未来へ」

